

ネイチャーセンターだより

コムクドリ

英名 : Violet-backed Starling

学名 : *Sturnus philippensis*



5月くらいに東南アジアなどから渡ってきて子育てをする夏鳥です。

樹洞やキツツキの古い巣など、木の穴で子育てをします。自然学習林や春国岱の林でも子育てをするため、夫婦で巣穴を探しながら林を飛んでいる様子が見かけられます。

5月のイベント



早起きバードウォッチング

～春の鳥に会いに行こう～

日時：5月17日(土) 5:30～8:00

集合場所：春国岱ネイチャーセンター

内容：子育てのためにやってきたノビタキなどの野鳥を、さえずりを楽しみながら探します。

申込み：電話にて先着20名

持ち物：参加費100円、暖かく歩きやすい服装、あれば双眼鏡・図鑑

申込締切：5月11日(日) 雨天中止

対象：小学校3年生以上(小学生以下保護者同伴)

ボランティア説明会

～自然に関わるボランティア～

日時：5月24日(土) 10:00～12:00

集合場所：春国岱ネイチャーセンター

内容：野鳥や自然の調査や観察会などを行うフィールドボランティア。自然に関わるボランティア活動をはじめたい方を募集します。

申込み：電話にて先着20名

持ち物：暖かく歩きやすい服装、あれば双眼鏡、筆記用具

申込締切：5月18日(日) 雨天中止

対象：高校生以上

ネイチャーセンターからのお知らせ

今年度のスタッフ紹介

春は、出会いと別れの季節。ネイチャーセンターのスタッフも異動がありました。新たな始まりを迎えた今年度のスタッフの紹介をします。(は新しく春国岱に来たスタッフです。)

星野正雄 [根室市農林課自然保護主査]

4月から根室市の自然保護担当となりました。

オオワシやタンチョウ、シマフクロウ、そしてヒトの楽園を守りたいと思います。

手嶋洋子 [(財)日本野鳥の会チーフレンジャー)

春国岱にきて、ちょうど1年が経ちました。季節を一巡りし、根室の自然の素晴らしさをさらに感じています。今年も観察会やボランティア活動、講座などを通して、皆さんとこの素晴らしい自然を学び、見つめていきたいと思っています。

富岡優子 [(財)日本野鳥の会レンジャー]

根室に来て1年が経ちました。タンチョウ、オオワシ、クマガラ…と貴重な生き物たちが暮らすこの素晴らしい自然を多くの方に知っていただきたいと思っています。

以下の二人は、道東で野鳥の会の野鳥保護区の買い取りなどをおこなっています。センターの表に出ることはあまりありませんが、根室をはじめとした道東の野鳥と自然を守るために活動をしています。

富岡辰先 [(財)日本野鳥の会野鳥保護区事業所所長]

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターや霧多布湿原センター、野付半島ビジターセンターなど、道東には、たくさんの自然系施設があります。この中で、日本野鳥の会のスタッフを配置している施設は、春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターと、日本野鳥の会鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリの2ヶ所で、スタッフが7名います。私たちは、道東の自然をたくさんの方に楽しんでもらい、また、その貴重な自然を子供たちに引き継げるように、保全活動を進めています。

松本潤慶 [(財)日本野鳥の会野鳥保護区事業所]

はじめまして。4月から野鳥保護区事業所に配属となった松本潤慶です。これまでは、石川県の加賀市鴨池観察館で勤務してきました。道東の自然については勉強中ですが、これから頑張っていきますので、よろしくお願いします。

ボランティアの活動と募集

オオハクチョウの調査を行いました

春の渡りの途中で風蓮湖を利用するオオハクチョウの飛来数調査をおこないました。調査は3月21日と30日の2日間おこないました。

温根沼や風蓮湖周辺の複数の調査ポイントから、望遠鏡とカウンターを使って1羽ずつ数を数え飛来数を記録します。

30日の調査が最多で、風蓮湖全体で幼鳥・成鳥あわせて6,252羽、温根沼をあわせると、6,752羽にもなりました。

10月～12月には秋の渡りの調査をおこないます。

フィールドボランティア募集中

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047

自然情報 * 5月 *

マイヅルソウやエゾエンゴサクなど春の花が咲きはじめます。
アオジやノビタキなどの夏鳥も少しずつ渡ってきます。



展望台は、老朽化のため現在利用できません。ご了承ください。
センターでは、双眼鏡、野鳥図鑑の無料貸出をおこなっています。ご利用ください。

小鳥の小道

おたまじゃくし

自然学習林のカエル池でエゾアカガエルのおたまじゃくしが卵からかえり、泳ぎはじめます。

カエル池では、他にもエゾサンショウウオも産卵します。



ハマナスコース

オオジュリン

第一砂丘のハマナスコースを歩いていると、草から草へ忙しそうにエサを運ぶ姿が見られます。

オスはよく草の上に出てきて、さえずります。



ヒバリコース

クジャクチョウ

ヒバリ・ハマナスコースの草原や、ネイチャーセンター前などで花の蜜を求めて飛んでいます。

クジャクチョウは、冬を成虫で過ごすため、チョウの中で一番最初に飛び始め、春を知らせてくれます。



キタキツネ・アカエゾマツコース

ルリビタキ

アカエゾマツコースの針葉樹林によく現れます。

オスはよく響く声で、「ヒヒヨロリ」と早口にさえずります。



ネイチャーセンター日記

長くとどまっていた流氷もようやくなくなり、春らしさを感じられるようになった4月中旬。春国岱の干潟に、白と黒の体に赤いくちばしの「ミヤコドリ」がやってきました。

ミヤコドリは春の渡りのとき、他のシギ・チドリよりも一足先に春国岱を訪れます。今シーズンは4月12日に、1羽確認されたのが初認となりました。昨年、これまでに最も多い44羽が確認されました。この数は、ミヤコドリの推定個体数の0.25%以上にあたり、世界的な水鳥類のネットワークに加盟するための基準を超えるものです。個体数を把握することによって、その地域の自然の豊かさやある種にとっての重要度を知ることができます。春国岱はミヤコドリにとって、とても大切な湿地なのです。

今年は、何羽のミヤコドリが来てくれるでしょうか？毎日、楽しみに数を数えています。みなさんもミヤコドリを見つけたら、ぜひ数を数えてみてくださいね。



メール配信のお願い



郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。 連絡先： nemu_nc@marimo.or.jp
（郵送をご希望の方には今後も郵送いたします。）

ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。（PDF形式）
ホームページ： http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体の方へ～解説

のご案内～

事前にお申し込みが必要です。

野外での解説は、学校など自然学習を目的とした団体などに限らせていただきます。詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。（電話 0153-25-3047）

- 野外解説・自然学習 （～2時間 / ～20名）
- 春国岱の自然（映像）（15分～25分 / ～45名）
- 自然クイズラリー （約1時間 / ～50名）
- タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム（0.5～2時間 / ～20名）
- 施設概要説明 （30分～2時間 / ～45名）

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp
5月の開館時間 9:00～17:00
5月の休館日 7・9・12～14・21・28
（ゴールデンウィークのため、変則的になりますのでご注意ください。）

